

クロスロード

NPO法人コミュニティ日高 人と地域を元気にするコミュニケーション広報誌

VOL.
37
2019.08.01

町に住んでる素敵なお人
文化振興事業のお知らせ



町に住んでる

素敵な人

今、人生の大きな夢に向かって

齋藤ゆかりさん

1961年8月8日生まれ

獅子座 A型

趣味／映画鑑賞(アンジェリーナ・ジョリーが大好き) 競馬観戦(武豊、藤田菜七子を応援している)
仕事／NPO法人そら理事長

「NPO法人そら」の仕事

日高健康福祉センターの玄関から入って右方向に進むと「そら」の青い幟旗が見える。この場所が「そら」の活動拠点。建物には奥行きがあつて広々としており、テーブルや椅子がおかれ、ロビーになっている。

初めてお会いした齋藤さんは見るからにキビキビとした所作の女性であつた。さて、彼女はいつたいどのような活動をしているのだろうか？ 基本的になことから知りたいと思ひ「そら」の事業内容を尋ねると、福祉の専門用語を交えながらもわかりやすく丁寧に話してくださつた。ひとこと、うとうと「そら」は障がい者や高齢者が健康やかに働けるよう手助けをしているNPO法人である。

ある大きな部屋に案内された。ここでは数名の施設利用者さんたちが、ランドセルの一部を製作する作業やプ

ラスチック容器を商品化していく作業に取り組んでいた。このほか曜日ごとに、わさび畑の清掃、パンやチーズケーキの製造販売、古紙回収なども行っている。「そら」は、地域の一般企業から仕事を請けて、施設の利用者にも働く機会を与え、自分らしく生活できるように手助けをしているのだ。

「一歩踏み出して、仲間と一緒に働くと、障がい者も高齢者もどんどん元気になる」と齋藤さんはいう。

「ここでは利用者さんどうしが支えあい、認め合い、助け合いながら働いている。いい距離感でそれができています。いい距離感でそれができています。支援者である私たちが言う利用者さんとは心を閉じてしまうこともある。しかし利用者さんどうしの関係でそれがうまくいっているのです。支援者がなんでも介入するのではなく、利用者さんどうしが支え合っていることは本当に素晴らしいことだと思ひます。」
私たちは主役を見失わないように裏方でお手伝いしたいという言葉が印象に残つた。

「居場所」をつくる

「そら」は現在、たくさんの仕事を請けて元気に活動しているが、最初は障がい児の「居場所づくり」から始まつたという。これまで様々な試行錯誤があつたようだ。

ここに至るまで、どのようないきさつがあつたのだろうか？ 個人的な経験も含めて齋藤さんは快く話して

くださつた。

1995年、次男が生まれた時、医者からダウン症だと告げられた。「その当時はダウン症について何も知らなかつた」という。不安でいっぱい母親の気持ちを、さらに落ち込ませるような心無いことをいう専門家もいた。ショックをうけて引きこもる毎日が長い期間続いた。

そんなある時「この子が生まれた意味」について話を聴く機会が訪れる。それは「息子さんはあなたを助けるために生まれてきたのですよ」という話だつた。その話に救われて元気を取り戻し、息子や同じ立場の児童たちが健やかに暮らせる居場所づくりを奔走を始める。

「いろいろ経験を積み重ねるうちに、フツツと感ずるものがあつた。そし

てある時、ふと「私が施設をやろう」と思つた。誰かに動かされている感じだつた。そして何か壁にぶつかる、ちやうど良いタイミングで協力者があらわれる。神様がいて降りてくる。」
母として責任者として言葉に尽くせない様々な体験が、現在の「そら」に繋がっている。

「お話カフェ」を開催

これまでの経験を活かそうと、「お話カフェ」を開催した。子育てに悩む母親たちが安心して相談できる場を提供する。

「ちよつと他の子とは違うのでは…という悩みや不安は、身近な人に相談できないことがよくある。そんな親たちが安心して話ができるようにしたい。」



廊下の展示



第1回目のお話カフェ (写真右 齋藤ゆかりさん)



そらのパン工場

7月5日に行われたお話カフェには、母親たちが集まった。コーヒーとチーズケーキが用意され、会場は和やかな雰囲気にもまれていた。
 次回は秋に計画している。

「地域共生社会」の実現

「そら」は今、何を目指しているのだろうか？ 齋藤さんはあるとき「共生社会」という言葉に気づいた。

「地域の方々も含めてすべての人が繋がりが、安心して暮らしていけるように協力したい。人はだれかに必要とされたり、感謝されたり、自分の出番があることで頑張れると思う。今後は引きこもりや不登校の方々にも参加していただけるように活動し、お互いが助け合える地域づくりをしていきたいです」。

「そら」が目指しているのは地域共生社会の実現である。それは障がい者、高齢者、一般の人という壁をつくらない社会のこと。そのビジョンに向けて具体的な取り組みがスタートしている。

「みんなの食堂」をつくりたい

今、取り組んでいるのは「食堂」の立ち上げ。ヒントになったのは「こども食堂」である。

齋藤さんは「こども食堂」で、大人が食べているのを見て驚いたそうだ。



そらのチーズケーキ

『自分も食べていいんだ！なるほど。こども食堂を参考にしよう。月2回ならできる』。

目指すのは、一般の人も含めて多くの人が楽しい時間を過ごすことができる食堂。最初は助成金の助けを得ながらも、経済的自立をめざして、ゆつくりとステップを踏んでいきたいという。

オープンは来年、2020年春を予定している。

思ったことは実現してきた齋藤さん。持ち前の行動力とまわりの協力を得て、食堂の計画もうまく運ぶに違いない。

事業報告

第11回 通常総会を開催しました <6月27日(木)>

豊岡市日高振興局 小谷士郎局長を来賓に迎え、総会開催のお祝いの言葉の後、「劇団青年団」の移転の影響、植村直己冒険館の機能強化・指定管理の件、また日高町における人口減少・高齢化の問題等あいさつをいただきました。

その後議事に入り、議長の清水寛氏のスムーズな進行により、5議案全て承認されました。

昨年度(第11期)の収支決算が、法人設立以来初めて赤字(1,764千円)であることを受け、質疑がありました。今後も赤字決算が続く見通しであり、その解消策が見通せないなか、会員の方々より赤字解消策として、自主事業のチケットの売り上げを伸ばす、印刷代単価の値上げ、引当金等の対策などいろいろな提案をいただきました。ありがとうございました。



日高振興局 小谷士郎局長



議長 清水寛氏

役員体制 (任期2年)

理事長	綿貫 祥一
副理事長	岡森 成直
理事	小谷 俊英
	小山 通代
	中野 明美
監事	前田 和良
	藤本 克典

※いずれも再任です



～ごあいさつ～

「コミュニティ日高」も昨年10周年の節目を皆様とともに振り返り、次へのステップがスタートしました。

元号も「平成」から「令和」に移り、役員一同も改めて日高地域の人と人の交流を深めることを目指して、文化協会・体育協会・スポーツクラブの事務局として、また文化体育館・植村直己記念スポーツ公園の管理者として、皆様とともに歩んでいきたいと願っています。引き続いてのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

理事長 綿貫 祥一

日高文化協会

平成31年度総会を4月22日（月）に開催し、役員の変更を行いました。

会 長	井上 正治	神鍋民謡保存会
副会長	児島 敏夫	日高町書道同好会
	和田 喜美子	日高いけばな協会
理 事	竹林 秀子	茶道裏千家淡交会日高地区
	木下 悟	吟道関心流日高吟詩会
	帆前 由美	国府音頭を広める会
	大谷 友則	日高町吹奏楽団
	岩見 節子	若柳流菊扇会
監 事	中野 明美	日高女声合唱団
	羽世田 清美	(公社) 関西吟詩文化協会公認岳豊会日高支部



<今後の予定>

- ◆第41回文化祭・・・10月20日（日）
- ◆第41回協会展・・・10月26日（土）、27日（日）

スポーツクラブ21日高

7クラブとも総会が終わり、今年度も活動が始まっています。4月から『ひだか』でバレーボールが新種目に加わり、小学生から大人までいい汗を流しています。これから暑くなります。熱中症に気を付けて無理をせず、楽しみましょう。

永年『やしろ』の会長を務めていただいた中村勝美氏が退任されました。設立当初から19年間お世話になり、ありがとうございました。今年度から、吉谷義奉（よしたによしたも）氏が会長に就任されました。これからよろしくお祈いします。



～ごあいさつ～

子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを楽しむ場として設立された「スポーツクラブ21」も20年が経とうとしています。当時を知る小学生、その親たちや中高年層の会員も年を重ね、スポーツクラブの活動から離れた方が多くなり、会員も減少しています。

「スポーツクラブ21」は、スポーツを通して親子のふれあいや地域の人々の交流を促進し、地域コミュニティの一役を担える活動と思います。ご家族での入会お待ちしております。



「スポーツクラブ21 やしろ」
会長 吉谷 義奉

【 スポーツクラブ21日高 】

会 長	小田垣 修
副会長	細川 仙一
	戸田 和代

【 各クラブ会長 】

こくふ	戸田 和代
やしろ	吉谷 義奉
ひだか	小田 忠昭
せいしゅう	谷口 敏昭
みかた	中西 正博
きよたき	飯田 雄樹
にしき	中島 道昭

日高町体育協会



平成31年度総会を4月23日（火）に開催し、平成30年度の功労者表彰も行いました。

表彰されたのは、柔道協会の成田剛さん、豊岡高等学校3年生の陸上競技部 小林賢士郎さん、塚原啓太さん、中嶋佑さんです。

4人とも明るいスポーツの町づくりに寄与した功績を称え、表彰されました。



日高町柔道協会会長 成田 剛さん

今春より中学生、一般の会員が増えました。功労賞を受けたことで、気持ちを新たに他の指導者と共に、一層精進して参ります。今後も努力を重ねながら、スポーツ推進に尽力していきたいです。

豊岡高等学校3年生 小林 賢士郎さん

〈種目：三段跳〉

この度はこのような栄誉ある賞を頂きありがとうございます。今年度の私の目標は、沖縄県で開催される全国インターハイに出場して6位以上の順位に入り、入賞することです。

昨年U18日本選手権では7位入賞することができたので、今年はそれ以上の順位を目指したいと思っています。そのためにもご尽力頂いた顧問の先生方、いつも応援してくれた両親、私の部活を彩ってくれた友達、部員達に感謝の気持ちを忘れずに、また何よりも「自分らしく、楽しく」跳びたいと思います。

今年度は高校3年間の陸上競技の集大成の最後の年となるので、後悔しないような1年にしたいです。皆様のご期待にお応えできるように頑張ります。**(近畿高校総体陸上インターハイ決勝で6位入賞され、全国大会出場が確定しています)**

豊岡高等学校3年生 塚原 啓太さん

〈種目：400mH〉

小さい頃から走ることが好きだった自分がまさかこのような賞を頂くとは思っていませんでした。本当にありがとうございます。今回、この賞をもらった3人は同じ中学、同じ高校で種目は違いますが、お互いに刺激をもらい競い合えたから成長することができました。

いよいよ高校での陸上競技生活の節目となる大会が目の前に迫ってきました。日高町の皆さんが僕たちを見てくださっていると感じ、感謝で一杯です。この大会が引退ではなく次に進むための大会になるよう、あきらめず、精一杯頑張りたいと思います。そして、今まで支えてくださった先生、仲間、家族、地域の方々に結果でかえせるように頑張ります。

(近畿高校総体陸上インターハイ決勝で3位入賞され、全国大会出場が確定しています)

豊岡高等学校3年生 中嶋 佑さん 〈種目：800m〉

私がこのような賞を頂けるとは思ってもいなかったので驚いていますが、とてもうれしいです。この賞をもらったことに恥じないように頑張っていきたいと思います。

これからの目標は、5月の終わりから6月の始めにある兵庫県大会で優勝し、近畿大会で6位以内に入賞して全国大会にも出場することです。しかし、このままでは厳しいので、残りの短い時間ですが、しっかり調整していきたいと思います。

また、10月の始めに行われる国民体育大会にも出場したいです。しかし、今の記録では足りないので、これから自分を追い込み、記録を上げていきたいと思います。

今まで私を支えてくれた方々やここまで指導してくださった先生方に感謝の気持ちを持ち、そして恩返しができるように走りたいと思います。

(近畿高校総体陸上インターハイ準決勝まで大健闘され、兵庫県陸上競技選手権に向けて躍進中です)

第34回 日高地域市民テニス大会を開催しました <6月2日(日)>

種目：男女ペアによるミックスダブルス

【リーグ戦】中上級クラス

優勝	井二 将道 ・ 米谷 さおり	ペア
準優勝	糸乗 隆行 ・ 井二 かおり	ペア
第3位	池田 薫 ・ 中川 かおり	ペア



第6回 植村直己記念スポーツ公園リレーマラソン開催します

<開催日> 8月24日(土)

スタート：小学生駅伝 17:30～

リレーマラソン 18:00～

☆リレーマラソン終盤には夜間照明を点灯しての

ナイトランとなります



日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡実行委員会

第52回 日本女子ソフトボールリーグ1部 第6節 豊岡大会開催のお知らせ

<9月7日(土)>

10:30～ 戸田中央総合病院 VS ビックカメラ高崎

13:00～ シオノギ製薬 VS NECプラットフォームズ

<9月8日(日)>

10:30～ NECプラットフォームズ VS 戸田中央総合病院

13:00～ ビックカメラ高崎 VS シオノギ製薬



日高文化体育館で
チケット販売中

今年も全但バス但馬ドームを会場に兵庫県ソフトボール協会と但馬ソフトボール協会が主管し開催することになりました。

来年のオリンピック日本代表選手の候補に上がっている選手も、神鍋にやって来て素晴らしい競技を見事な技を披露して、観戦して戴いた方に大きな感動を与えてくれるものと期待しております。

尚、前売り入場券はコミュニティ日高をはじめ、ソフトボール協会、体育協会、区長会、商工会、観光協会などで販売しております。どうぞたくさんの方に神鍋の但馬ドームにお越し戴きますようご案内申し上げます。
実行委員長(但馬ソフトボール協会会長) 信本 修吾

— 職員短信 —

■新規採用(令和元年8月1日付)

三木 和明

■退職(令和元年6月30日付)

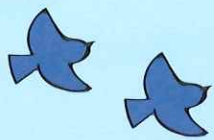
宿南 恵次郎

大田 隆行

■豊岡市商工会 永年勤続優良従業員表彰(10年勤務)

宿南 梨恵子





文化振興事業

令和元年9月～令和2年3月

9月
23日
(祝月)

ちない たけお
智内 威雄 ピアノコンサート

「左手のピアニスト」として
驚異的なテクニックと深遠かつ豊かな音楽性
場所：日高文化体育館



11月
2日
(土)

わらび座公演 「セロ弾きのゴーシュ」

宮沢賢治の代表作品
誰かと一緒に生きている嬉しさを噛みしめてほしい
そんな思いをお届けいたします
場所：日高文化体育館



令和2年
1月

こみゆにていよせ
第8回来夢新亭寄席

今回もたんたん落語会・たんたん落語笑年団の
皆さんが笑いをお届けいたします
場所：日高文化体育館



令和2年
2月

第7回学校訪問コンサート

演奏者はパーカッションパフォーマンス
「Leverage レバレッジ」
場所：日高西中学校



令和2年
3月
22日
(日)

第9回ひだか市民吹奏楽のつどい

出演団体予定 日高小学校金管バンドクラブ
日高東・西中学校
日高高校 日高町吹奏楽団
場所：日高文化体育館



編集後記

今号から広報誌名が『クロスロード』に変わりました。
和訳をすると、(他の道路と直角に交わる)交差道路、四つ辻、十字路という
意味になります。法人設立10年を経て、地域の情報誌として再出発です。
これからも、地域の皆さんと様々な形で交わっていきたいと思いますので、
よろしくお願ひします。(クロスロード編集部)



日高町在住 太田 清さんの絵手紙

NPO法人コミュニティ日高
〒669-5305
兵庫県豊岡市日高町祢布954-6
TEL 0796-42-2505
<http://www.comhidaka.or.jp/>

表紙写真 齋藤 ゆかりさん(わさび畑の中で)